

協議事項 6

今後の中学校給食について

今後の中学校給食について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和3年5月18日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

今後の中学校給食に関する保護者アンケート調査 実施結果報告

I アンケート調査の概要

1. 調査の目的

温かい中学校給食による全員喫食制への移行に関する保護者ニーズを把握し、今後の検討における基礎資料とするため

2. 対象者

神戸市立小学校・中学校・義務教育学校に在籍する児童生徒の保護者

3. 実施期間

令和3年4月28日（水）～同年5月12日（水）

4. 実施方法

インターネットによるアンケート調査

※「保護者との連絡ツール（アプリ名：すぐーる）」を活用し、教育委員会事務局から保護者に直接メッセージを送信し、インターネット上で回答（各家庭で代表の方1名が回答）

5. 有効回答数

40,138 件（回答率：54.5%）

（単位：件・%）

<通学されている学校の区>（複数回答可）

区	回答数	割合
東灘区	6,399	15.9
灘区	3,888	9.7
中央区	2,677	6.7
兵庫区	2,432	6.0
北区	6,139	15.3
長田区	1,900	4.7
須磨区	3,993	9.9
垂水区	6,031	15.0
西区	6,769	16.8
合計	40,228	100.0

<お子さまの学年>（複数回答可）

学年	回答数	割合
小学1年生	6,561	11.2
小学2年生	6,185	10.4
小学3年生	6,451	11.0
小学4年生	6,491	11.1
小学5年生	6,877	11.7
小学6年生	6,899	11.8
中学1年生	7,041	12.0
中学2年生	6,498	11.1
中学3年生	5,681	9.7
合計	58,684	100.0

<ご家庭の世帯状況>（いずれか1つ回答）

区分	回答数	割合
夫婦ともにフルタイムの共働き	10,481	26.2
夫婦の一方がフルタイム、もう一方がパートタイムの共働き世帯	16,104	40.1
夫婦のいずれか一方が働いている世帯	9,075	22.6
ひとり親世帯（母子又は父子）	4,179	10.4
その他	299	0.7
合計	40,138	100.0

Ⅱ アンケート結果

(単位：件・%)

【問1】〔中学校給食の利用状況〕

現在、中学校給食を利用していますか？ (いずれか1つ回答)

項 目	回答数	割 合
1. 継続して利用している	8,018	44.9
2. 必要な月だけ利用している	1,072	6.0
3. 過去に利用していた	2,321	13.0
4. 一度も利用していない	6,376	35.7
無回答	59	0.4
合 計	17,846	100.0

【問2】〔給食の提供方法〕

現在のランチボックス方式の中学校給食から、全てのおかずを温かく提供でき、量の調整もできる方法に移行することについて、どう思いますか？ (いずれか1つ回答)

項 目	回答数	割 合
1. とても良い	28,224	70.3
2. 良い	8,282	20.6
3. どちらとも言えない	2,640	6.6
4. あまり良くない	635	1.6
5. 良くない	357	0.9
合 計	40,138	100.0

<クロス集計：中学校給食の利用状況>

項 目	継続して利用		必要な月に利用		過去に利用		一度も利用なし	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. とても良い	6,472	80.7	789	73.6	1,495	64.4	3,400	53.3
2. 良い	1,049	13.1	217	20.2	560	24.1	1,711	26.8
3. どちらとも言えない	289	3.6	50	4.8	201	8.7	927	14.6
4. あまり良くない	157	2.0	8	0.7	41	1.8	183	2.9
5. 良くない	51	0.6	8	0.7	24	1.0	155	2.4
合 計	8,018	100.0	1,072	100.0	2,321	100.0	6,376	100.0

<クロス集計：小学生の保護者・中学生の保護者>

項 目	小学生の保護者		中学生の保護者	
	回答数	割合	回答数	割合
1. とても良い	16,036	71.9	12,188	68.3
2. 良い	4,733	21.2	3,549	19.9
3. どちらとも言えない	1,159	5.3	1,481	8.3
4. あまり良くない	246	1.1	389	2.2
5. 良くない	118	0.5	239	1.3
合 計	22,292	100.0	17,846	100.0

※「中学生の保護者」は中学生・小学生の両方がいる場合を含む

【問3】

【問2】で「とても良い」、「良い」と回答された主な理由は何ですか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. 温かい方がおいしく食べることができるから	27,354	74.9
2. 個人の成長に応じた量の調整ができるから	6,322	17.3
3. 給食の準備や片付け等を通じて食育が期待できるから	628	1.7
4. 食品ロス削減に効果がありそうだから	767	2.1
5. その他	514	1.4
無回答	921	2.6
合 計	36,506	100.0

＜その他＞ ※主な意見

- ・ 選択肢全てが良いと思う
- ・ 給食の配膳を通して生徒同士のコミュニケーションになるから
- ・ 温かい給食のモデル実施の際、子どもがとてもおいしく、今後もずっと続けてほしいと言っていたから
- ・ 親の負担軽減と子どものために栄養バランスのとれた温かい給食が望ましいと思うから

【問4】

【問2】で「あまり良くない」、「良くない」と回答された主な理由は何ですか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. 今のランチボックスの給食のままで十分だから	52	5.2
2. 給食の準備に時間がかかりそうだから	227	22.9
3. 教室での配膳は衛生面が不安だから	270	27.2
4. アレルギーや宗教上の理由等で給食を食べられないから	85	8.6
5. その他	323	32.6
無回答	35	3.5
合 計	992	100.0

＜その他＞ ※主な意見

- ・ 温度や量の調整も大切だが、美味しさを重視してほしいから
- ・ 子どもに偏食があり、温かくしても食べないと思うから
- ・ 子どもが家庭弁当を希望しているから
- ・ 十分な給食時間が確保されるのか心配だから
- ・ 給食の配膳で子どもたちの負担が増えるから
- ・ 沢山食べる子と、そうでない子で不平等が出るから
- ・ コロナ禍の状況で感染対策が十分にできるか不安があるから

【問5】〔全員喫食制のニーズ〕

温かい給食や量の調整ができる提供方法に移行する際には、生徒全員に給食を提供する「全員喫食制」とすることについて、どう思いますか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. とても良い	21,771	54.2
2. 良い	11,663	29.1
3. どちらとも言えない	4,714	11.7
4. あまり良くない	1,158	2.9
5. 良くない	832	2.1
合 計	40,138	100.0

<クロス集計：中学校給食の利用状況>

項 目	継続して利用		必要な月に利用		過去に利用		一度も利用なし	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. とても良い	4,605	57.4	597	55.7	1,156	49.8	2,474	38.8
2. 良い	2,140	26.7	313	29.2	657	28.3	1,765	27.7
3. どちらとも言えない	1,088	13.6	112	10.4	311	13.5	1,207	19.0
4. あまり良くない	130	1.6	32	3.0	124	5.3	481	7.5
5. 良くない	55	0.7	18	1.7	73	3.1	449	7.0
合 計	8,018	100.0	1,072	100.0	2,321	100.0	6,376	100.0

<クロス集計：小学生の保護者・中学生の保護者>

項 目	小学生の保護者		中学生の保護者	
	回答数	割 合	回答数	割 合
1. とても良い	12,911	57.9	8,860	49.6
2. 良い	6,770	30.4	4,893	27.4
3. どちらとも言えない	1,986	8.9	2,728	15.3
4. あまり良くない	389	1.7	769	4.3
5. 良くない	236	1.1	596	3.4
合 計	22,292	100.0	17,846	100.0

※「中学生の保護者」は中学生・小学生の両方がいる場合を含む

<クロス集計：世帯状況>

項 目	フルタイム で共働き		フルタイム・ パートで共働き		夫婦のいずれか 一方が働いている		ひとり親世帯 (母子又は父子)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. とても良い	6,309	60.2	8,661	53.8	4,332	47.7	2,339	56.0
2. 良い	2,712	25.9	4,820	29.9	2,959	32.6	1,083	25.9
3. どちらとも言えない	1,078	10.3	1,836	11.4	1,187	13.1	563	13.4
4. あまり良くない	231	2.2	470	2.9	334	3.7	104	2.5
5. 良くない	151	1.4	317	2.0	263	2.9	90	2.2
合 計	10,481	100.0	16,104	100.0	9,075	100.0	4,179	100.0

【問6】

【問5】で「とても良い」、「良い」と回答された主な理由は何ですか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. 給食は栄養バランスに優れているから	17,314	51.8
2. 食への関心・理解が深まるなど食育が期待できるから	1,094	3.3
3. 家庭弁当を作るのは負担を感じるから	9,885	29.6
4. 選択制の給食は利用しにくいから	4,012	12.0
5. その他	754	2.3
無回答	375	1.0
合 計	33,434	100.0

＜その他＞ ※主な意見

- ・全員喫食制になれば、メニューの質の向上が期待できるから
- ・義務教育である期間は成長著しい時期でもあるので、栄養バランスの取れた食事が一食でも食べられることは大きな意味があると思うから
- ・全員が揃って食べることで、仲間意識や社会性を身に付けることができるから
- ・家庭ではあまり食べない物を食べる機会にもなり保護者の負担も大幅に減るから
- ・家庭の事情もあると思うが、小学校が全員喫食制なので、それが継続されるだけのことだと考えると問題はないと思うから
- ・家庭環境に左右されずにセーフティネットとして栄養のある食事を提供できるから
- ・将来を担う子どもたちの成長と発達を考えれば給食が望ましいから

【問7】

【問5】で「あまり良くない」、「良くない」と回答された主な理由は何ですか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. 家庭弁当を持参させたいから	440	22.1
2. 給食費の負担があるから	96	4.8
3. 子どもが給食を望まないから	700	35.2
4. アレルギーや宗教上の理由等があるから	266	13.4
5. その他	439	22.1
無回答	49	2.4
合 計	1,990	100.0

＜その他＞ ※主な意見

- ・個人が選択できる方が良いと思うから
- ・各家庭の事情に合わせると今のままの方が良いと思うから
- ・家庭弁当によって思春期の子どもとのコミュニケーションになっているから
- ・給食は食中毒のリスクがあるから
- ・給食より家庭弁当の方が衛生面で安心だから

【問8】 〔給食の時間〕

現在、中学校では、お昼の休憩時間（40～45分程度）のうち、給食時間は20～25分となっていますが、今後、全員喫食制に移行する際には、これに加えて教室での配膳時間（10分程度）が必要となります。給食時間を今以上に長く確保するためには、お昼の休憩時間や部活動の時間も含め、1日の時間割を工夫する必要があります。

配膳時間を含めた給食時間をどの程度確保することが望ましいと思いますか？（いずれか1つ回答）

項 目	回答数	割 合
1. 20～25分程度	3,558	8.9
2. 30～35分程度	24,091	60.0
3. 40～45分程度	11,416	28.4
4. その他	1,073	2.7
合 計	40,138	100.0

<その他> ※主な意見

- ・十分な給食時間を確保してほしい
- ・ゆっくり味わって食べる時間と子どもたちのリラックスできる時間を確保してあげたい
- ・食育の観点からも十分な時間を確保してほしい
- ・60分程度は必要だと思う
- ・小学校の給食時間を参考に考えてほしい
- ・給食を実施している他都市の状況を調査して考えてほしい
- ・子どもの意見を聞いてあげてほしい
- ・温かい給食は嬉しいが、授業や部活動への影響は出さないでほしい
- ・子どもたちにとってお昼の休憩時間も大切だと思う
- ・朝の登校を早めて下校時間は今と一緒に望ましい
- ・学校側で工夫して決めてほしい

<クロス集計：小学生の保護者・中学生の保護者>

項 目	小学生の保護者		中学生の保護者	
	回答数	割 合	回答数	割 合
1. 20～25分程度	1,971	8.8	1,587	8.9
2. 30～35分程度	13,708	61.5	10,383	58.2
3. 40～45分程度	6,187	27.8	5,229	29.3
4. その他	426	1.9	647	3.6
合 計	22,292	100.0	17,846	100.0

※「中学生の保護者」は中学生・小学生の両方がいる場合を含む

今後の中学校給食に関するアンケートフォーム

中学校給食は、現在、ランチボックス方式で実施していますが、国の衛生管理基準上、ご飯は65度以上、おかずは10度以下で温度管理のうえ提供する必要があることや量の調整ができないという課題があります。そのため、生徒や保護者のニーズを踏まえ、全てのおかずを温かく提供でき、生徒が教室で配膳することで量の調整もできる方法への移行を検討しています。

また、その移行の際は、家庭弁当との併用を改め、生徒全員に給食を提供する「全員喫食制」とする予定です。

今後の検討の参考とするため、保護者の皆様に下記のとおりアンケート調査を実施しますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

※「すぐーる」にご登録いただいている方に配信しています。ご家庭で代表の方1名がご回答ください。

添付資料1：今後の中学校給食について（PDF）

添付資料2：今後の中学校給食における基本的な考え方（PDF）

はじめに1：どちらの地区の学校に通学されていますか？（複数回答可）
<input type="radio"/> 東灘区 <input type="radio"/> 灘区 <input type="radio"/> 中央区 <input type="radio"/> 兵庫区 <input type="radio"/> 北区 <input type="radio"/> 長田区 <input type="radio"/> 須磨区 <input type="radio"/> 垂水区 <input type="radio"/> 西区
はじめに2：市立小中学校に在籍中の全てのお子さまの学年を教えてください。（複数回答可）
<input type="radio"/> 小学1年生 <input type="radio"/> 小学2年生 <input type="radio"/> 小学3年生 <input type="radio"/> 小学4年生 <input type="radio"/> 小学5年生 <input type="radio"/> 小学6年生 <input type="radio"/> 中学1年生 <input type="radio"/> 中学2年生 <input type="radio"/> 中学3年生
はじめに3：ご家庭の世帯状況として最も近いものを教えてください。
<input type="radio"/> 夫婦ともフルタイムの共働き世帯 <input type="radio"/> 夫婦の一方がフルタイム、もう一方がパートタイムの共働き世帯 <input type="radio"/> 夫婦のいずれか一方が働いている世帯 <input type="radio"/> ひとり親世帯（母子又は父子） <input type="radio"/> その他
【利用状況】 中学生の保護者にお聞きします。現在、中学校給食を利用していますか？
<input type="radio"/> 継続して利用している <input type="radio"/> 必要な月だけ利用している <input type="radio"/> 過去に利用していた <input type="radio"/> 一度も利用していない
【給食の提供方法】 現在のランチボックス方式の中学校給食から、全てのおかずを温かく提供でき、量の調整もできる方法に移行することについて、どう思いますか？
<input type="radio"/> とても良い <input type="radio"/> 良い <input type="radio"/> どちらとも言えない <input type="radio"/> あまり良くない <input type="radio"/> 良くない

「とても良い」、「良い」と回答された主な理由は何ですか？

- 温かい方がおいしく食べることができるから
- 個人の成長に応じた量の調整ができるから
- 給食の準備や片付け等を通じて食育が期待できるから
- 食品ロス削減に効果がありそうだから
- その他 []

「あまり良くない」、「良くない」と回答された主な理由は何ですか？

- 今のランチボックスの給食のままで十分だから
- 給食の準備に時間がかかりそうだから
- 教室での配膳は衛生面が不安だから
- アレルギーや宗教上の理由等で給食を食べられないから
- その他 []

【全員喫食制のニーズ】

温かい給食や量の調整ができる提供方法に移行する際には、生徒全員に給食を提供する「全員喫食制」とすることについて、どう思いますか？

- とても良い 良い どちらとも言えない
- あまり良くない 良くない

「とても良い」、「良い」と回答された主な理由は何ですか？

- 給食は栄養バランスに優れているから
- 食への関心・理解が深まるなど食育が期待できるから
- 家庭弁当を作るのは負担を感じるから
- 選択制の給食は利用しにくいから
- その他 []

「あまり良くない」、「良くない」と回答された主な理由は何ですか？

- 家庭弁当を持参させたいから
- 給食費の負担があるから
- 子どもが給食を望まないから
- アレルギーや宗教上の理由等があるから
- その他 []

【給食の時間】

現在、中学校では、お昼の休憩時間（40～45分程度）のうち、給食時間は20～25分となっていますが、今後、全員喫食制に移行する際には、これに加えて教室での配膳時間（10分程度）が必要となります。

給食時間を今以上に長く確保するためには、お昼の休憩時間や部活動の時間も含め、1日の時間割を工夫する必要があります。

配膳時間を含めた給食時間をどの程度確保することが望ましいと思いますか？

- 20～25分程度 30～35分程度
- 40～45分程度 その他 []

今後の中学校給食について

<現在の中学校給食>

- ランチボックスの給食を事前に申し込んだ生徒に提供



<移行を検討中の中学校給食>

- 温かい給食を食器に取り分けて、生徒全員に提供



※写真はイメージ

今後の中学校給食における基本的な考え方

教育委員会では、成長期にある中学生に栄養バランスのとれた安全安心な給食を提供することで、食育の推進や心身の健やかな成長を図ることを目的として、平成 25 年 3 月 22 日に「神戸市立中学校給食実施方針」を決定しました。

この方針に基づき、全員喫食を基本とするとともに、家庭弁当を希望する保護者や生徒の意見も踏まえ、家庭弁当の持参も可として、デリバリーランチボックス方式による中学校給食を平成 26 年 11 月から順次実施し、平成 29 年 2 月から全校で実施しています。

その後、中学校給食に関しては、令和元年度の全生徒及び保護者へのアンケート調査において、生徒・保護者ともに「温かい給食」を希望する意見が最も多く、令和 2 年度に実施した温かい給食のモデル実施においても、生徒からの好意的な意見が多数でした。

また、同アンケート調査では、「家庭弁当を持参させたい」という保護者の意見は少数となっており、共働き世帯の増加などを背景として、中学校給食の導入時に比べ、「全員喫食制」に対する保護者ニーズも高まっているのではないかと考えられます。

これらのアンケート調査やモデル実施の結果、有識者や保護者等で構成する神戸市学校給食委員会での意見を踏まえ、下記の基本的な考え方をもとに、中学校給食の充実に取り組んでいくこととします。

記

1. 全員喫食について

家庭弁当の持参を可としている現在の運用を改め、栄養バランスに配慮した給食を生徒全員に提供する「全員喫食制」に移行し、食育の一層の推進や家庭弁当の持参にかかる負担軽減を図る。

2. 提供方法について

生徒や保護者のニーズを踏まえ、現在のランチボックス方式を改め、温かい給食の提供や量の調整に対応できる方式に移行する。

3. 実施方式について

1. 2 の方向性を踏まえて、安全安心で温かい給食を安定的に提供できることを前提として、費用対効果や効率性などの観点から最適な方式を検討する。

なお、一つの方式に拘らず、学校施設の状況や地域特性なども踏まえたうえで、複数の方式を組み合わせることも含めて柔軟に検討する。

4. 移行時期について

この基本的な考え方をもとに具体的な調査検討に取り組み、令和 3 年の秋頃までに「全員喫食制への移行に向けた基本方針」を策定し、早期の移行を目指す。